

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	出会いの場Leo		
○保護者評価実施期間	R7月3月17日		～ R7年3月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	R7年3月13日		～ R7年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年3月29日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の情報共有や連絡、相談などの連携を密にしており、全職員が共通理解の下、日々子どもたちと接し支援を行っている。 終業時間内に話が出来ない場合などは、職員同士の連絡ツールアプリにてやりとりを行い、疑問や気になることなどを先送りにせず、すぐに解決、相談できる関係性である。	管理者は職員一人ひとりと個別に話を聞く場を設け、それぞれの想いを汲み取り、業務、人間関係が円滑に進んで行けるようコミュニケーションを大切にしている。 職員間も互いに協力し合ったり、励まし合ったりしながら日々の仕事に前向きに取り組めるような環境を作っている。	管理者からだけではなく、職員同士でも互いの問題点を言い合える関係性や場面作りを行い、更なるスキルアップを目指していきたい。
2	保護者送迎の為、子どもたちが利用する日は必ず保護者と顔を合わせ会話ができる環境である。体調や情緒面なども含め保護者の様子もすぐに把握できるので、悩みや不安に寄り添い、適切なアドバイスを行えることや一緒に考え、並走しながら同じ想いで子ども達と向き合っている。	保護者の気持ちに寄り添い、いち早く変化に気が付けるよう普段から会話ややりとりを丁寧に行い、信頼関係を構築している。 また、相談支援員や他事業所の職員とも細目に連携を図りながら、保護者のニーズに応え、それを踏まえた子どもの課題に気付き、取り組めるよう努めている。	現在、特定の保護者は保護者同士で話したり、悩みを互いに共有されている。一方では、一人で抱え込んでしまう方もいる。保護者同士の交流を図る場を作ったり、悩みに寄り添える人と繋いだりしながら、様々なところからアプローチできるように取り組んでいく。
3	法人全体で災害時などの訓練、研修を積極的に取り入れている。災害を想定したお泊り保育の実施、非常食の試食などを普段の保育の中で行って、実際に災害が起きた時に落ち着いて避難誘導、行動できる力を身に付けていけるようにしている。また、もしもを想定して近隣の方や保護者と一緒に炊き出し訓練も実施。	避難訓練は外部講師に監修の元実施。その都度課題を整理しすぐに改善するよう努めている。 また、訓練の際は事業所のみではなく、隣接する一般社団法人ぶらっとのスタッフやその場にいる方にも声を掛け、誘導を積極的に行ってもらうよう協力を依頼している。	災害時に使用する発電機の購入を検討している。 今後も様々な災害等を想定し、毎月の訓練で保護者の方にも参加してもらいながら、災害に備える意識付けを高めていきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちが過ごす生活空間は基準を満たしているが、子どもたちの月齢が上がり、年長児が増えていくにつれて、活動量も増えると自由に活動出来る空間の確保が難しい。	構造化はしやすい作りとなっているが、思い切り身体を動かせる空間が少ない。	限られた空間の中で身体を動かし気持ちを発散したり、一人ひとりのスペースを確保したりしながら活動や遊びを楽しむような工夫を都度話し合っていく。
2	保護者と密に関係性が築かれているが故に、馴れ合いになってしまうケースもある。	保護者と親しくなりすぎて、線引きが曖昧、または難しいと感じる。	職員の言葉遣いや保護者との関わり方、伝え方など都度指導を入れながら、適切な距離感を保っていけるようにしていく。
3	近隣の保育園や幼稚園、学校と交流する機会が少ない。 保育園、幼稚園と併用利用している子どもについて、話し合いや連携会議が難しい状況にある。	児童発達支援事業所とはどういった所なのかという認知がまだ少ないと感じる。定型発達の児たちと遊び方や関わり方の違いがあることもある為、受入れが難しいと感じてしまっているのではないかと推測する。 年度初めや利用開始時に電話連絡はしているものの、そこから連携に繋がるケースが少ない。	近隣の保育園などにパンフレットを渡し、事業所を知ってもらおう。 交流できる機会があるかなど、積極的に問い合わせ関係作りを行う。 保護者や相談支援員とも協力しながら、連携が図れるようにしていく。